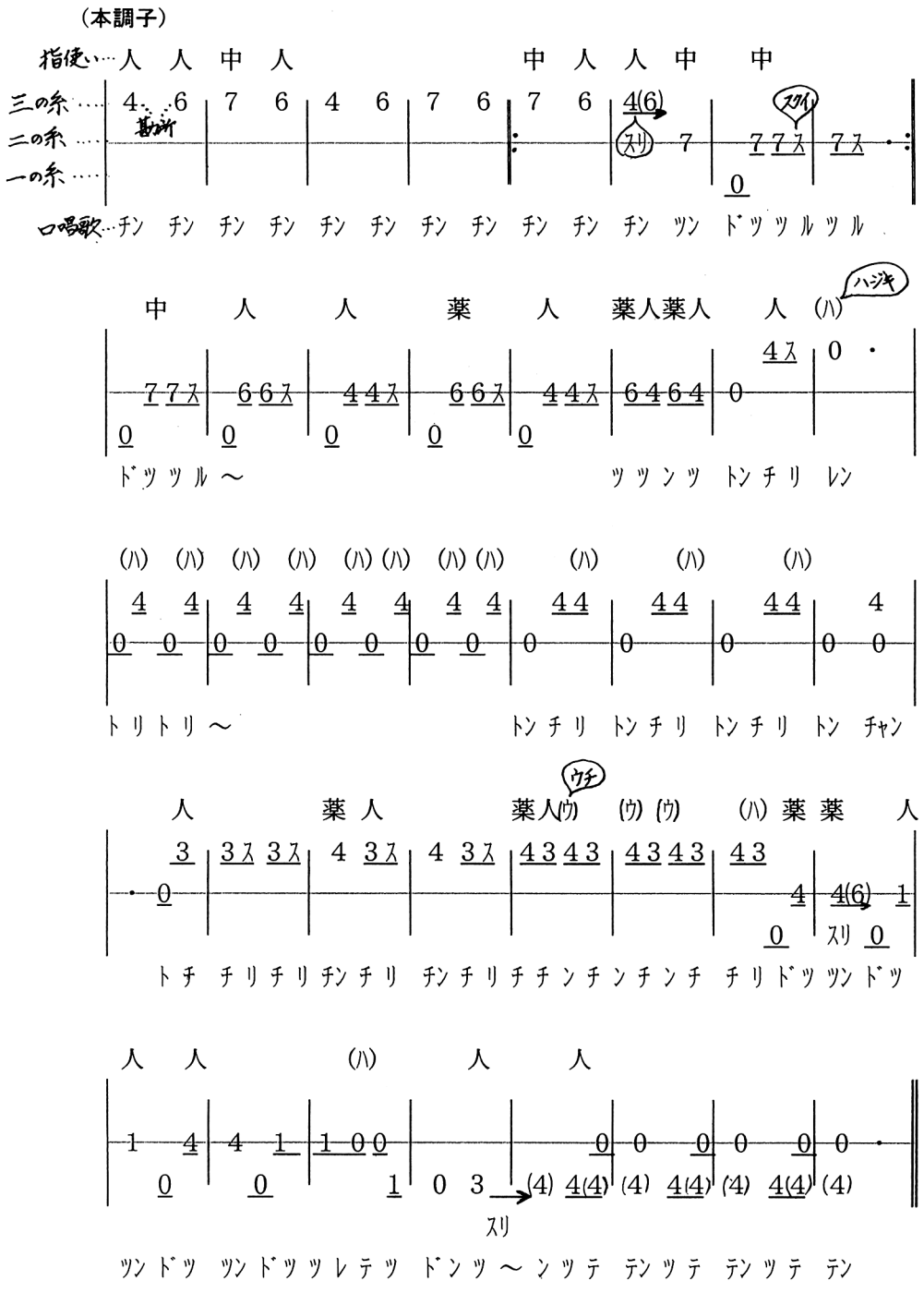
現在，三味線の奏法譜には様々な種類がありますが，授業では下のような口唱歌つきの奏法譜を使いました。譜中の数字は指で押さえる勘所で，それぞれ横線の下側が一の糸，線上が二の糸，線の上側が三の糸の勘所を表しています。

また，この『寄せの合方』の中では，「スリ」（弦を弾いた後で，勘所を押さえている左指を次の音にずらして移動させ，余韻の変化を出す奏法）や「スクイ」（弦を弾いた後に撥を下から上に戻すように動かす奏法），「ハジキ」（左手の指で弦を弾く奏法），「ウチ」（撥で弾いた後，左手の指の腹で弦を打ち響かせる奏法）など三味線特有の奏法を使います。

歌舞伎・勧進帳より『**寄せの合方**』三味線パート　奏法譜